

かていしゅうしん

No.389

H24.5.7

山田町第一保育所



桜の花とこどもの日

所長 阿部 哲雄

五月に入って本年度もひと月が過ぎ、子どもたちも落ち着いて生活できようになってきました。

四月は、これまでになく気温が低い日が続いた月だとのことでしたが、急に気温が上がったり、下がったりの日があったりして、安定しない極端な変化のあった月でした。

そして、桜の開花が全国的に遅れていましたが、東北地方には、春のゴールデンウィークにあわせたように、一斉に満開となり、見事なまでの花を開かせました。

今年の桜は、枝について咲いている花を見ると、例年になく花の数が多く、色もとても美しく見えるような気がします。

五月一日には、子どもたちは、中央公民館前の「いきいき公園」まで、散歩をして桜のお花見をしました。子どもたちには、季節の移り変わりを体感して欲しいと考えています。

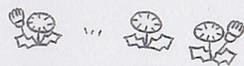
昨年の今頃の時期は、東日本大震災の直後であり、保育所の再生に向けて必死になっていた頃であり、桜の花の記憶は殆どないため、今年の花が一段と美しく見えるのかもしれない。

この花が散り始めると、野山の木々の木の芽は、芽吹きを加速させて行き、新緑がまぶしくなる季節を迎えます。

春の「ゴールデンウィーク後半の、五月五日は、男の子の健やかな成長を祝う端午の節句、「こどもの日」です。保育所の園庭にも、青い空に鯉のぼりが泳いでいます。

ところで、中国の古くからの言い伝えによれば、黄河という川の上流には龍門という滝があり、数多くの魚がいる中で、鯉だけが、その滝をさかのぼって、龍になることができたと言われていたそうです。そこから、鯉は立身出世を象徴するめでたい魚と考えられていたのです。何かの時に、「登龍門」という言葉を聞くことがあると思いますが、この中国の古い言い伝えからきているのだそうです。

当保育所における入退所の状況は、四月十七日に、ちゅうりっぷ組に加賀屋星那君が入所し、たんぼ組の村上心音さんが三十日に退所して、五月一日現在の児童数は、男児三十九名、女児三十五名、計七十四名となりました。



5月うまれのお友達

☆おたんじょうび

おめでとう☆

《ちゅうりっぷ組

4さいになりました》

やまざき ゆずきくん (17日)

みなと てんらさん (24日)

《ひよこ組

2さいになりました》

きただ ゆいさん (4日)

ふくし りょうたくん (8日)

五月保育目標

○ひよこ組

- ・新しい環境や生活の流れに慣れ、元気に過ごせるようになる。
- ・保育士に、見守られながら安心して好きな遊びを楽しむ。
- ・簡単な身の周りの事に興味を持ち、やってみようとする。
- ・戸外の心地良さを味わいながら、散歩を楽しむ。

○たんぼ組

- ・一人一人の思いを受け止めながら、安心して過ごせるようになる。
- ・保育士に手伝ってもらいながら、身の周りのことを自分でやってみようとする。

○ちゅうりっぷ組

- ・保育士や友達と一緒に、体を動かしたり、好きな遊びを楽しむ。
- ・健康的で安全な環境の中で、活動と休息のバランスをとり、元気に過ごせるようになる。

- ・生活の仕方や流れが分かり、保育士と一緒に身の周りのことをする。

- ・保育士や友だちと一緒に春の自然に触れ、興味や関心を持つ。

- ・リズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりして、表現することの楽しさを味わう。

○さくら組

- ・保育士としての信頼関係を築きながら安心して生活し、健康・安全に留意し快適に過ごせるようにする。

- ・好きな遊びやしたい事を気の合う友だちや保育士と一緒に十分楽しむ。
- ・生活の仕方やきまりが分かり、自分でできる喜びを味わいながら行動しようとする。

- ・虫や草花に触れて遊んだり、栽培物に興味・関心を持つ。

○すみれ組

- ・自分の体や交通ルールなどに関心を持ち、健康で安全な生活を送るための習慣をつける。

- ・見たり、聞いたりしたことや経験した事をさまざまな方法で遊びの中で表現していく。

- ・身近な植物や野菜の世話をし、成長に期待を持つ。

5月の行事予定

- 8日(火) 花まつり
- 13日(日) 母の日
- 14日(月) 親子交通安全教室(4、5歳児) 園内研修
- 15日(火) クレヨンしんちゃん来所
- 16日(水) 歯科・内科健診
- 18日(金) 言語指導訪問
- 23日(水) 誕生会
- 24日(木) 曹洞宗 絵本読み聞かせ会
- 25日(金) 避難訓練
- 29日(火) 職員会議
- 30日(水) 観劇 夢まあるく舎(ボランティア)
- 15日・22日・29日 英語